

総合的な学習の時間の実践

函館市

総合的な学習
4年

教科での学びを発展させて

ゴミとリサイクル

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



社会科で学んだ「ゴミはどこへ」の学習を深めるために、地域環境へと視点を広げます。本校のある湯の川地区は、函館の有名な温泉地であり、美しい景観の維持が必要です。そこで、子どもたちに道路を歩かせ、本気でゴミ問題に取り組んでいきたくなるように働きかけました。この活動から、道路へのゴミのポイ捨てなどが多いことを実感し、「ゴミの問題」や「リサイクル」について、一人一人何ができるのかを真剣に考えていったのです。

学習活動の流れ（39時間）

社会科や道徳の学習と関連付けることで問題意識を高めました。

湯の川クリーン作戦（14）

- ・街のごみ拾いをしよう
- ・拾ったごみを詳しく調べよう
- ・ごみを減らすために「調べたいこと・やってみたいこと」を決めよう

分析やまとめの作業では、算数で身に付けた知識や技能が生かされるようにします。

自分たちができるることを考えよう（23）

- ・自分の課題を調べよう
- ・やってみよう
- ・自分たちにできることをまとめよう
- ・ゴミ問題解決のアイデアを交流し合おう
- ・自分たちができることはなんだろう

街頭アンケートや給食の残量調べ、町の人への啓発活動など、人とのかかわりを大切にしました。

ふりかえろう（2）

- ・学習をふりかえって、これからの自分の生活を考えよう

温泉地として有名な、函館市湯川地区での実践です。美しい景観の維持が望まれていますが、ポイ捨ての問題があります。身近なところから問題をとらえさせていきました。



校舎外清掃

教材・活動の Point!



1. 体験活動で問題意識を高め、課題を明確にする

校舎外清掃、町内会のボランティア清掃、ゴミの出前講座、近隣のスーパーや商店、ホテル等のゴミ調査へと体験活動を繰り返す中で、一人一人の問題意識が高まり、解決すべき課題が明らかになっていきます。



2. 人とのかかわりによって学習が広がり、深まる

単にゴミを拾ったり、調べたりするだけでなく、アンケート調査や啓発活動などを行いました。様々な人とのかかわりの中で、課題を見つめ直すことができます。一層学習が広がったり深まったりするのです。



3. 他教科等と関連を図ることによって学びが高まる

社会や算数、道徳や特活などと関連的に指導を進めていきました。他教科等の学習内容と、実際の活動場面とを結びつけると、効果的に指導することができます。学習内容が結びつくことによって、子どもたちの学びに連続性が生まれ、確かな力を育てるることができます。